

古典文法トレーニング 長文課題 品詞分解と現代語訳

大問七（出典：『土佐日記』）

◎品詞分解（活用語中心。名詞は基本的に非表示。非活用語は基本的に初出のみ。）

やまとうた、主格助の格助守名の格助詠動めり格助ける、

都出下二・用接助でて格助君名に格助会動は格助む格助と格助来動 し格助もの名を格助来動 し格助か格助ひ格助も格助なく格助別動れ格助ぬ格助る格助かな

とな格助む格助あり格助けれ格助ば、格助帰動る格助前名の格助守名の格助詠動めり格助ける、

白妙枕詞の浪路格助を遠く行き交動ひて我名に格助似動 へ格助きは誰名なら格助なく格助に

異人々格助の格助も格助あり格助けれ格助ど、賢シクしシクきシクもシクなシクかシクるシクべシクし。と格助か格助く格助言動ひ格助て、前名の格助守名も格助今名の格助も格助も格助ろ格助と格助も格助に格助下上二・用り格助て、今名の格助主名も

前名の格助も格助手名取動り格助交動は格助して、酔動ひ格助言動に格助心名よ格助げ格助な格助る格助言動して出動で格助に格助け格助り。

二十七日、大津格助より浦戸格助を指動して漕動ぎ出動づ。か格助くある格助うち名に、京格助にて格助生動まれ格助たり格助し女子名、国格助にて格助俄動に失動せ

に格助しか格助ば、この格助ごろ名の出動で立動ち格助い格助そ格助ぎ名を見動れ格助ど、何格助ごと名も格助え格助言動はず。京格助へ格助帰動る格助に女子名の格助な格助き名のみ格助ぞ格助悲動し格助び

恋動ふる。ある格助人名々名も格助え格助堪動へ格助ず。この格助間名に格助ある格助人名の格助書動きて出動だ格助せ格助る格助歌、

都格助へ格助と思動ふ格助を格助もの名の格助悲動し格助きは格助か格助へ格助ら格助ぬ格助人名の格助あ格助れば格助な格助り格助け格助り

◎現代語訳（↓『ステップアップノート30 古典文法トレーニング』参照）